

## 議事及び協議内容等

### ◎ はたらく部会 (部会担当：相談支援センターあかつき 原崎)

#### 【中種子特別支援学校主催、福祉サービス事業所保護者説明会の取り組みに関して】

- ・ 今後は自立支援協議会として放課後等デイサービス等への呼びかけなどを含み、後援や共催を検討していく。

#### 【わかばプランについて】

- ・ 今後ははたらく部会と自動車学校とで望ましい継続のあり方を協議する。
- ・ 定例会等で協賛金の募り方等を検討し、具体的な形にしていく。

#### 【就労選択支援事業について】

- ・ 就労選択支援事業についての情報収集を継続していく。
- ・ 島内でこの事業を担う事業者が出ないことには、話が進まない。

### ◎ 暮らし部会 (担当：相談支援センターこすも 高木)

- ・ 他分野との連携やアウトリーチでの相談も検討していく。
- ・ 資格取得に繋がる無料の研修会があれば活用していきたい。
- ・ あかつき園、四元看護師より、医ケア児を園で受け入れた時の振り返り。
  - 医療的ケアの時間をずらし、スケジュール変更することで周囲の利用者と場を共有することができる時間を確保した。

実習を通じ、本人の普段の状態を知ることができたことで今後の受け入れに関する不安は軽減したが、その一方で現状としては人材不足により、十分に安全を確保して活動を提供することの難しさも感じた。
- ・ 医ケア児をめぐって、医療的ケアを提供する看護師の不足と、どのようにしてこの不足を埋めていくかが協議された。
  - 事業所との契約の必要性や、責任の所在等、解決すべき課題が山積していることや、具体的なケースを通して今後も協議検討を深めていく必要性を確認した。

◎ こども部会

令和6年度第2回種子島地区自立支援協議会こども部会の報告

【協議】

(1) 障害歯科に関する進捗状況

- ・ 身体を動かしてしまう子供に対しては、全身麻酔による治療が前提であり、医療センターの協力が得られていない現状では実施が困難
- ・ もぐもぐ外来を行っていた佐藤先生が鹿大病院を退職、開業されたため、来島しての治療の話ができなくなった。  
→ 佐藤先生の細君が退職、開業とのことで夫君は現状変わらないとのこと。
- ・ 歯科医師会での検討を視野に、島内で実施した実態調査の資料を送付している。
- ・ 運賃補助について各市町より現状を説明、各市町とも予算化され実施されている。

(2) よろ～てファイルについて

- ・ 各市町の12月の広報誌に掲載予定。
- ・ 配布状況については、各市町でリスト化されており把握できている。
- ・ 特別支援学校の児童、生徒については全員に配布済み、計画書のファイリングなどに使用している。
- ・ 活用のための勉強会について予定はない。各事業所の保護者会で生の声を聴いて検討を始める。

(3) グループディスカッション

4グループに分かれ事例（子供への支援から見えた家族支援が必要な家庭）について以下の内容で検討をして頂いた。

- ① 課題の整理
- ② 課題の解決方法
- ③ 課題に対応する機関とその具体的内容
- ④ 「家庭への介入」についての意見

※グループごとに意見集約し、発表していただいた。全グループは時間的に難しかったため、集約し送付する。

(4) その他

- ・ 医療的ケア児について（協議会で提言有り）

◎ 相談支援部会 提言

1、医療的ケア児等ガイドライン作成について（各ライフステージに必要な）

各市町で作成するのではなく、島内で医療的ケアの必要な方（児～者）のガイドラインが作れないだろうか。今は全くベースとなるものも無い為先進地のガイドラインを参考にしながら島内独自の物が作れると良いのではないかと考える。

就園・就学について専門的な見地から熊毛教育事務所や各市町の教育委員会の協力も得たい。

→ 錦江町等、整備が進んでいる自治体のものを参考に、今後協議を進めていく。

2、喀痰吸引研修の要望を継続してほしい。（熊毛圏域での実施）

→ 本土や奄美の方が、ニーズが高く年度中の開催は難しいようだ。

引続き要望していく。

3、人材育成について

福祉と聞くと暗いイメージがある。暗いイメージから明るいイメージを作り、若者を中心にしたイベントの開催を自立支援協議会で出来ないか。特に高校生を中心としたイベントがあると福祉にも興味を持ってもらい人材確保にも繋がるのではないか。現在ヘルパー不足も課題である。ヘルパー養成の助成はできないか。

→ 中種子町 ヘルパー初任者研修を行った。

中種子町の事業所において将来働く意思のある者が対象。将来への布石として実施。

→ ハローワーク熊毛 来年度中の合同面接会開催を企画している。人材不足に関しては鹿児島労働局のホームページにPR動画が掲載されており、これを高校生の就職支援にご利用いただくことができる。

島外から人材を得る上で、住居の確保と島外へのアピール方法は課題となる。

4、緊急体制整備・看護師派遣について

福祉サービスを使う際に直ぐに対応してもらえる体制整備が出来ないだろうか。また公立病院等から看護師を福祉サービス事業所に派遣するシステムを作れないだろうか。

→ 今後、引続き協議していく。

◎ 権利擁護部会

令和6年度より市町広報紙に『自立支援協議会だより』枠をもらっている。

『自立支援協議会だより』は、今後も協議会の定例会メンバーを中心に継続していく予定となっている。記事は協議会ホームページのコンテンツ「資料・発行物」からもご覧いただける。

今後「自立支援協議会だより」で取り上げてもらいたい話題等がありましたら、この場でお聞かせいただければありがたい。

- 9月は障害者雇用月間であったり、世界アルツハイマー月間あるが、こういった障害者に関する旬間に、これに関する記事を掲載していくことも今後検討していく。
- その時々テーマの執筆にふさわしい人がいれば、自立支援協議会外の方にも執筆依頼をしていく。

【お知らせ】

自立支援協議会主催映画上映会

令和7年1月11日(土) 中種子町公民館大ホール

1月12日(日) 西之表市民会館大ホール

時間：両日とも ①午前10時半～ ②午後2時半～ 一日二回上映予定